

ゆりかご

2020. 2月号

http://dai2-wakakusa.net/

第二わかさ保育園
2020. 1. 24 発行



【2月の聖句】

理事長 松本 俊雄

「受けるよりも与えるほうが幸いである。」

使徒の働き 20章 35節

ここには人生の大切な真理が教えられています。人は与えるより受けるほうが得なような気がします。そこには将来も発展ありません。反対に与えるためには勤勉さや努力が必要です。そして忍耐力や創造性が身につく成長があります。与えられる人に育てましょう。

もうすぐ立春、春はそこまで… みんなも もうすぐ一年生! もうすぐ進級!

園長 磯野 佳美

「令和」の年となりましたね。新年を迎え1か月、お正月を過ぎて、今年も子どもたちの成長を感じています。わかさっ子達は、冷たい北風の中も元気に外遊びをして、さらに体力パワーUPをして過ごしています。



*懇談会が始まります!

お忙しい中ですが、殆どのご家庭から参加お返事を戴き感謝です。日頃の様子をビデオを交えお伝えし、またご家庭の様子を伺い有意義な一時となる様、職員も楽しみに

しております。どうぞよろしくお願い致します。

*もうすぐ立春、もうすぐ一年生! もうすぐ進級!!

それぞれに楽しみにしているようですね。年長児は「ランドセル買ってもらったんだ〜!」と嬉しそうに話していました。そのピカピカのランドセルを背負って通学路確認も必要ですね。皆様はいかがですか〜?! 「自分の事は、自分で!!」としっかり行動出来ているかな? 確認の時期となりますね。園でも、ひとりひとりの保育を見直し必要な手立てを考察・対応していきます。保護者の皆様からも、お気づきの点・心配な点がございましたら

★お願い★ 来年度の準備も同時に進めていかなければなりません。新入園児を迎えるに当たり、名簿の確認・作成をします。変更のお知らせを頂いていない方(転居・転園・退園・その他等)は、今月中にお知らせ願います。



*小学校への接続が大きく変わる!! 《対談/汐見氏・大豆生田氏より》

2020年度から小学校で新しい学習指導要領がスタートし、小学校への接続が大きく変わります。先生が黒板の前に立ち大事な事を板書して、生徒がノートをとるという「トーク&チョーク方式」ばかりでなく、子どもたちが自分で調べたり、わいわい議論したり発表したりする「ワークショップ方式」をどんどん増やしていこうとしています。年長児くらいになったら子どもが話すだけではなく、「じゃあ今度はママの番ね」などと言って、子どもが「聞く」場面を意図的に作ることも少し大事になってくると思います。「対話はキャッチボール」を意識してみましょう。「自分の好きな事をどれだけ集中してできるか」今は、好きなことに没頭させることと、具体的にやりとりをすることは、[おもしろい]ということを経験させていけば [集中できるか心配...] は、ありません。ワークショップ型のような教育は、今まで「アクティブラーニング」という言い方をされてきました。でも「アクティブ」という言葉に誤解があるのではないかと考えています。最近では、「主体的で対話的で深い学び」という言い方をしています。主体的というのは、子どもが自分でやりたいことをやっていくことです。対話的というのは、何かをする時に自分1人だけでやるんじゃなくて、意見を交換しながらやっていこうということです。---当園でもいろいろな場面に取り入れて、保育を進めていきます。



— 幼なじみの
しろい雲 —
あなた方は
おなじゆりかごで
育ったのです。
生活の道は違うかも
しれませんが、けれども
おりおり不安を
気づかいあって、
幼い日のように 優しく
あの日とおなじ心で
いてほしいのです。
いつまでもなかよしく
いて下さい
— あなたのゆりかご —



創設者阿部八重 【子守りの詩】より
玄関にあります〜どうぞ手に取ってご覧くださいね。

新しい年が始まり、1ヶ月が過ぎようとしていますね。お正月明けはみんな元気な顔を見せてくれ、久しぶりに会ったお友達と風揚げ、羽根つき、かるた遊び等お正月の遊びを楽しみました。新年集会ではみんなが顔を揃え、目標を発表し合い、それに向かって一歩ずつ近づける様に見守っていきます。年末はインフルエンザが流行ってしまいましたが、年明けは、みんな元気に過ごせています。乾燥した日々が続いていますので、インフルエンザやノロウイルス等の感染予防のために、手洗い・うがいを充分に行い、この冬を乗り切ってください。

***寒さに負けず元気に遊ぼう！**

園庭や公園でマラソンや縄跳びをしたりして元気に身体を動かし、寒さに負けず丈夫な身体で遊びます。
「冷たい空気を体に入れて、強い体をつくろう」と元気に走っています。



***うがい・手洗いをしっかりしよう！**

インフルエンザ・ノロウイルス対策！うがい、手洗いをしっかりしましょう！

***小さな春を見つけよう！**

氷つくりを楽しんだり霜柱をふんだり…。まだまだ寒い時季ですが、「立春」を過ぎると芽吹き始め、春が近づいてきますね。園庭で遊んだり、散歩に出掛けて「春」を見つけます。

***基本的な生活習慣を見直そう！**

お忙しい中、懇談会ご出席のお返事を頂きありがとうございます。進級・就学の話を見せて頂く予定ですが、この機会にひとりひとりのお子さんの成長を確認し、生活習慣の見直しをしていきます。



***懇談会の開催場所ですが別棟2Fに変更します。**

トイレがないので、事前に済ませていただくか、本棟のトイレをご利用下さいね！

*春の懇談会に引き続き、今回の懇談会時も 17:30 頃から**保護者の方のお話タイム**の時間にしたいと考えております。春の時はとても好評でした。ぜひご参加下さいね！

ぎんが組の午睡

2/3(月)からは毎日午睡をしません。お子さんの様子でご心配がございましたらお知らせ下さいませようお願いいたします。絵を描いたり、ひらがなを書いたり、近隣のゴミ拾い、近隣の小学校や学童を見学するなどをして“特別な時間”を楽しんでいきます。以前にもお知らせしましたが、土曜日登園のお友だちは午睡をしますので布団セットをお持ち下さい。

【キッチン・栄養士より】～お箸のマナー～ 栄養士 齋藤恵利

新年を迎え、早いもので今年度も残り約3カ月となりましたね。保育園では毎年ひかり組の後半からお箸に関する取り組みを開始しています。箸の使用開始時期についてはご家庭や保育園により様々ですが、一度ついた癖を直すのは大人でも難しいもの。幼い子どもたちの場合はさらに苦戦して、苦手意識がついてしまうということも考えられます。

当園では使い始めから正しい持ち方を身に付けられるように、手の機能がしっかりと発達した4歳児クラスの秋～冬に食育を行い、その後保育の中でお箸を使用した遊びを取り入れ、慣れてから実際に食事での使用を開始します(*'▽')。そんなお箸ですが、使用する際にはいろいろなマナーがあることをご存知でしょうか？

代表的なマナー違反としては<箸を咥える=咥え箸><箸と箸で食べ物を持つ=拾い箸><箸で人や物をさす=振り上げ箸><食材に箸を刺す=刺し箸><ごはんに箸を突き立てる=立て箸>などなど…。

大人でも何気なく行ってしまっていることもたくさんありますね。これらのマナー違反の中には、お行儀が悪いだけでなく、怪我に繋がる場合もある危険なものもあります。小さなお子さんには第一に、安全にお箸を使用するためにも<お箸を人に向けてない><お箸を持って立ち歩かない>などから伝えていけるといいですね。



<インフルエンザの予防対策について>

今は金井地区で学級閉鎖が出ています

- *こまめな手洗いに心がけましょう。
- *室内の適度な加湿(概ね相対湿度 40%以上)・換気を行いましょう。
- *規則正しい生活を送り、休養を十分に取らしましょう。
- *バランスのとれた食事と適切な水分の補給に気を付けましょう。
- *必要な時以外は人混みを避けましょう。
- *インフルエンザワクチンの接種について、かかりつけ医等と相談しましょう。
- *体調の変化に気を配りましょう。
- *咳・くしゃみの症状がある時はマスクをしましょう。
- *咳・くしゃみをする時は、口と鼻をティッシュでおおきましょう。
- *咳・くしゃみをする時は周りの人から顔をそらしましょう。



幼児組には、健康教育で「手洗い」のことを、媒体を使いながら話しました。とてもよく聞いていました。寒くなると、冷たい水での手洗いがおそろかになりがちです。しっかりと手を洗いましょう！

<インフルエンザの登園基準の日安>

・発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 3 日を経過するまでです。

※ 出席停止の日数の数え方は、その現象が見られた日は算定せず、その翌日を第 1 日とします。

集団生活を送っていますので、もしも感染症に罹ってしまった時は、**お互いうつさない・うつらない**ように努めましょう。体調が優れない、または回復が思わしくない場合には無理をしないように心がけましょう。